

## 運転前後のアルコールチェックに！



ポータブルアルコールチェッカー  
HDL-J8

¥3,280- (税込)



付属マウスピースを市販のストローに交換すれば、複数人で使用できます。

- ☆約5～10秒息を吹き込むだけで呼気中のアルコール濃度が測定できます。
- ☆測定結果をデジタル表示と音で知らせるので分かりやすい。
- ☆測定結果を50件記録できるメモリー機能搭載。
- ☆USB充電約2時間で約300回使用できます。

◎乗車定員が11人以上の自動車1台以上、またはその他の自動車5台以上使用の事業所は安全運転管理者の選任を行い、管轄警察署へ届け出る必要があります。

◎令和4年4月より改正道路交通法施行規則が施行され、安全運転管理者による運転者の運転前後のアルコールチェックが「義務化」となりました。

令和4年4月1日施行

- ・運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、運転者の酒気帯びの有無を確認すること
- ・酒気帯びの有無について記録し、記録を1年間保存すること

令和4年10月1日施行

- ・運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行うこと
- ・アルコール検知器を常時有効に保持すること

※安全運転管理者の制度に関するご不明点は都道府県警察のホームページをご参照ください。

ちょいメッセ



『とうもろこしのヒゲ』

我彦 武大

とうもろこしに生えているヒゲって何かご存じでしょうか？実はヒゲはめしべで、1粒1粒から生えているものです。つまり、ヒゲの本数ととうもろこしの粒の数は必ず一緒になります。ヒゲがたくさん生えているとうもろこしは粒がぎっしりしています。またヒゲの色は白色よりも褐色のものが、よく熟しており、甘味が増しているものになります。

ちなみに、とうもろこしのヒゲはよく捨てられていますが、食べることができます。食べ方としてはサラダやお茶に使えるそうです。とうもろこしを保存する際は、皮やヒゲをなどがついた状態で保存するのがオススメです。

ぜひ今年の夏は栄養が豊富に含まれているヒゲに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

# ねもかな通信

No.132

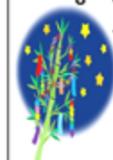
令和4年  
7月号  
発行人  
根本金物

〒960-8032  
福島市陣場町9-28  
TEL 024-534-0962  
FAX 024-531-3024

営業日  
月曜日～土曜日  
土曜日  
午前中営業  
定休日  
日曜日・祝日

### 優ライフ情報

今月の「わいわいクラブ」はお休みです。次回のご参加をお待ちしております。



## 『あんなつかしのナポリタン！』

根本 勉

はるか昔、まだ学生のころ3年半ぐらい喫茶店でアルバイトをしていた経験があります。最初は配膳と簡単な飲み物を作るくらいしかさせてもらえなかったのですが、1年が過ぎたころから徐々にハンバーガーやサラダ、ホットサンド、ナポリタンなどを作らせていただけようになりました。このナポリタンのオーダーが入るとたまたまなく嬉しかったことを今でも覚えています。

のものの。それに火を入れた時と入れない時では、味も香りも全く違うのです。何といたって業務用ですので、いつ注文が入ってもいいようにフライパンは少量のサラダオイルとマーガリンを入れ、種火で熱しておきます。注文が入るとマッシュルームや玉ねぎ・ピーマン・ベーコン等の具材を入れ直ぐにかき混ぜフライパンの中で回転させるのです。その時にフライパンの振り方で一瞬火が入ります。ここがコツです。その後はスパゲティを入れ塩・コショウで味を調えます。さらに白ワインで香りを付けたら最後にケチャップを入れます。ケチャップは多すぎても少なすぎても焦がしてもいけないので結構微妙な感覚が要求されます。たまに思い出して作るのですがレンジ周りや床の掃除が気になりフライパンをためらうとやはり味は物足りなく感じます。いつかは火事にならない程度、豪

快に調理してみたいものです!!



## 『アカシアの花が咲く』

根本 三枝子

アカシアの花ってご存知ですか？ある時何気なく見上げてみると白い花のようなものが木の先端に1つ付いていました。『あれってアカシアの花？』と思った瞬間、走馬灯のように過去に記憶がタイムスリップ！

将さんに聞いてみた所、『あれはアカシアの花ですよ』とのこと。アカシアってどこかで聞いたことがあるなあとと思いきや、昔、西田佐知子さんが歌っていたアカシアの雨がやむとき…。

“あつ年がばれちゃう”

私はとつても可憐な花を想像していたのですが、夕食のお膳に出てきた手のひら大の超ダイナミックな天ぷらを見た瞬間…。さすが地元ならではのおおらかさを感じました。また、アカシアの花が食べられるとは思いませんでした。

翌朝、窓を開けてみると清々しい風と目に飛び込んだ景色は土手一面に咲くアカシアの花『あれ、夕べの天ぷらはもしかして目の前のアカシアの花？』なるほど宿泊費が安い理由に納得！

やはり自然は食料庫ですね。大切にしなければ…。



# ねもかなの小部屋



## 『胃カメラ』

平尾 和重

先日、健康診断で久しぶりに胃カメラ検査を受けて来ました。以前に受けた時からかなり年月が経っていたので少し心配ではありましたが、特に問題もなくスムーズに終了しました。記憶が定かではありませんが前に比べてかなりカメラ自体が飲み込みやすいように感じました。今回、胃カメラ検査にしたのは、バリウムでの検査ですと検診後のバリウムがなかなか体から抜けないからです。

もっと若い時は病院から出される下剤ですぐに排泄できたのですか、最近はダメで数日不調が続きます。検査後にすぐ先生から画像を見せてもらったのですが、そこには健康番組などでよく見るお馴染みの胃の内部映像が！悪い所が無いかわくわくしながら説明を聞いておりましたが、今回は胃に関しては大丈夫でした。

普段は見る事が出来ない自分の胃の内側。あまり気かけないで食事をしていましたが、日々頑張ってくれていると思うと食事内容や時間、量などをきちんと考えなくてはと感じました。胃さん、これからも宜しくお願い致します！



## 『シャボン玉』

佐藤 信吾

最近、子どものお風呂遊びの中でシャボン玉がブームになっています。シャボン玉といっても市販で売っているシャボン玉液、容器、ストロー付きの立派なものではありません。

やり方としては、指で輪っかを作り、ボディソープの泡を使ってシャボン玉の膜を作ります。そこから息を吹きかけ徐々に大きいシャボン玉にしていきます。作っている途中で子どもは待ちきれずに触って壊してしまいがちですが、それがものすごく楽しいようです。父親としては大きいシャボン玉を空中に飛ばしてあげたいのですが、必ず子どもに阻止されてしまいます(笑)

時間はかかりますが、もし子どもが自分で作れるようになった時には父親は壊さずに見守ってあげたいと思います。壊したら嫌われそうなので(笑)



## 『イノシシ対策』

我彦 武大

今年は実家の畑以外にも、少し山の方に畑の一部をお借りして野菜を育てております。ところが、とうもろこしやスイカなどを畑に定植させて1週間くらいで、イノシシに畑を荒らされてしまいました。被害状況としては、とうもろこしが根っこまで食い荒らされ、スイカも1株を残して食われ、唐辛子も半分が踏み荒らされていました。

意外にもミニトマトは支柱などを立てていたためか、全く被害がありませんでした。唐辛子も踏まれましたが、食べられた痕跡もなく、トマトと唐辛子はイノシシが嫌いなのかも…？

イノシシがとうもろこしやスイカの葉や茎を食べていくのには、驚きました。実を食べに来るのかと思いきや、根っこ以外なくなっていました…。イノシシの食害は本当に厄介だと感じました。これは対策が必要だと思い、いろいろ調べてみると、電気柵やワイヤーメッシュの柵が有効だということが分かりました。しかし、あまりお金をかけて柵を設置して野菜を育てても、そこまでの費用に見合うものではないので、それ以外の方法でやろうと思います。

対策としては、近くに竹林があるので、その竹林の竹で1.5mくらいの高さの防護柵をつくり、柵の近くに透明な糸(釣糸)を張り巡らせ、近づいてきたイノシシが透明な糸に引っかかりびっくりさせて、畑に近づかせないようにする作戦です。問題は侵入口が広いのと畑が広いので、柵を設置するのに手間と時間がかかりそうです。どうなるかは乞うご期待!!

# 読書感想文「おとうふ工房いしかわ」年商50億のまっすぐ経営術

石川伸 著



平尾 和重

愛知を中心に店舗展開をされている「おとうふ工房いしかわ」の経営の歩みとその「思い」を知る事ができます。「とうふ」を中心に据えた事業を展開していく中での経営者としての考えや商品開発の裏側が詳しく紹介されています。

また、理論ではなく、数々の経験から導き出された経営術には納得させられる事が多くあります。商品をただ販売するのではなく、どのような考えで商品をつくり、どのような人に食べてもらいたいのかという「思い」を大切にしている姿勢。人やその心情を大事にされている社長の姿がとても印象的でした。美味しいおとうふがつい食べたくなる一冊です。

## ねもかな園芸部



全員が順調(?)に育っているようです。果たしてこのまま無事に成長してくれるのでしょうか。メンバーの途中経過をご覧ください!



共同印刷(株) 鈴木様

元気そうな苗を選別して鉢に植え替えましたが、最近、急激に成長が早くなり、期待感を持たされました(笑) 順調に育ってくれて、夏に収穫出来ればと願っております。



根本 三枝子

一番期待していた鉢はどうとう芽が出ず、土もつくらずチョコチョコと種をまいたものがメインとなってしまいました。

日陰の身となっていたものは、鉢と土を新しくして6月中旬に大きくなあれと呪文を唱えながら植え替えをしました。きっと立派なトウモロコシが実ることでしょう。「期待しているよ! トモちゃん」



平尾 和重

小さいながらもようやくトウモロコシらしくなってきました。日当たりのよい場所にはプランターを置いてあるので、環境的には悪くないと思います。先日追肥を試してみました。これからどんどん大きくなって欲しいです。



佐藤 信吾

少しずつ伸びてきました! が、一番育ちがいいもの2本がたった5センチくらいの間隔になっていたため、1本を少し離れた所に植え替えてみました。ストレスなのか、下の方の葉っぱが萎れてしまい、このまま根付いてくれるか心配です。元々が少数精鋭なので、何とか生き延びてくれー!



我彦 武大

6月初旬に雹が降り、葉に穴が開いてしまいました。また、プランターを置いている場所は日当たりが良く風通しも良いので、強風により葉がさらにボロボロになってしまいました。今のところは育っておりますが、今後どうなるのか心配です。